

## 県土整備部の職場紹介 No.18

### 県北広域振興局土木部



#### 地域概要

県北広域振興局土木部は、三陸沿岸の北端に位置し、所管区域は久慈市、九戸郡洋野町、野田村及び下閉伊郡普代村の1市1町2村となります。

当該地域の大部分が海洋性気候の影響下にあり、夏期にはやませと呼ばれる偏東風が発生し、年間平均気温が10度前後と比較的冷涼な気候で、年間を通じて過ごし易い地域です。

また、ウニやアワビの海産物をはじめ久慈琥珀や大野木工品等、地域資源にも恵まれています。

当部では、東日本大震災津波で被災した公共土木施設等の復旧・整備や洪水・土砂災害対策の施設等の整備を進めるとともに、隣接する経済圏である八戸圏域等との交流・連携を深めながら、地域経済の活性化を推進しています。

#### 組織体制

##### ○平成28年度組織スローガン

成し遂げよう、震災復興！つなげよう、魅力あふれる県北圏域の未来へ！

##### ○組織の特徴

当部の組織は、部長以下5課、1担当及び1事務所（滝ダム）で構成され、職員数は、正職員37名、全国から派遣された職員4名（青森県2名、栃木県1名、島根県1名）、任期付職員7名に臨時職員等31名を加えた総勢79名の体制です。（平成28年度組織体制）

毎年のように新採用職員が配属されるなどフレッシュな職員が多く、明るく活気のある職場です。

なお、平成29年度も新採用職員1名が配属されることになりました。



◎H28 県北土木新採用職員カルテット  
左から澤技師、松森技師、藤倉主事、佐藤主事

#### 今年度の主な取組

##### 1 津波から地域住民の生命と財産を守る【洋野町八木地区】

洋野町八木地区は、津波により八木駅を中心とした海沿いのエリアが浸水し、甚大な被害を受けました。当部では、八木地区の北側における地域住民の生命と財産を守るため、防潮堤及び陸閘等の整備を進めており、平成29年度に完成予定です。

##### ◎津波による被災状況及び着々と進む防潮堤の整備状況

写真左：八木地区（県道八木港線）の被災状況  
写真中：八木地区南側より望む  
写真右：八木南港より望む



## 2 災害に強いまちづくりと連携した道路整備【県道野田山形線】

野田村は、津波により中心市街地が浸水し、甚大な被害を受けました。当部では、野田村が進めている浸水区域内の住居を城内高台団地へ移転させる災害に強いまちづくりと連携しながら、中心市街地を通る県道野田山形線について、浸水区域を迂回するバイパス工事を進めており、平成29年度に完成予定です。

開通すれば、城内高台団地へのアクセスはもちろん、国が進めている三陸沿岸道路と国道45号とのアクセスが飛躍的に向上することになります。



◎H29年度開通に向けて

写真左：県道及び城内高台団地の整備状況  
写真右：県道から城内高台団地へのアクセス状況

## 3 台風第10号災害からの復旧へ

平成28年8月30日、昭和26年の統計開始以来、初めて岩手県の太平洋側に上陸した台風第10号は、記録的な大雨となり、河川の氾濫等により、道路、河川等の公共土木施設に甚大な被害をもたらしました。

久慈市と盛岡市を結ぶ幹線道路である国道281号は、8月30日から久慈市川井～大川目間の14.1kmの区間において、道路決壊により通行止めを余儀なくされましたが、昼夜を問わず復旧作業を進め、9月13日には全面通行止めが解除となりました。

この迅速な対応は、10月に開催を控えていた国体に向けて、大きな弾みとなりました。

台風第10号により、久慈市内中心部に大規模な浸水被害をもたらした久慈川をはじめとする管理河川においては、広範囲にわたり流木の散乱や土砂の堆積が生じており、再度災害防止に向けて流木や土砂撤去等の作業を進めています。

また、台風襲来時、長内川下流市街地の洪水被害を低減する役割を果たした滝ダムでは、約1,500トンの流木が貯水池に散乱したことから、流木の撤去作業を行い、来るべき洪水に備えたところです。



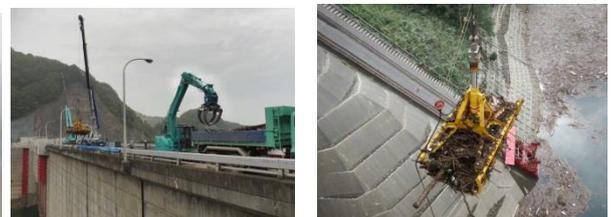
◎国道281号応急復旧の状況(久慈市大川目地区)

写真左：道路決壊による全面通行止め状況(被災直後)  
写真右：応急復旧完了により片側交互通行へ移行(H28.9.13時点)



◎流木及び堆積土砂撤去の状況(久慈川)

写真左：流木撤去状況  
写真右：堆積土砂撤去状況



◎流木撤去の状況(滝ダム)

写真左：ダム天端道路からの撤去作業状況  
写真右：貯水池に堆積した流木の引上げ作業状況

## 独自の取組等

### 1 津波から命を守る

当部では、久慈地域の防災力向上を目指すため、久慈地域に住む小・中・高校生等を対象として、津波防災施設の役割や避難の必要性などについて、施設見学や津波についての座学等を行う「津波防災出前講座」に取り組んでいます。

平成28年度は、久慈地域の小・中学校を中心として8回開催しました。



◎出前講座の状況

写真左：陸間の開閉を実際に経験(宿戸小学校)  
写真右：津波とはどんなものかを知る(小国小学校)

### 2 地震に強い住宅を学ぶ

当部では、住宅等の耐震化の重要性や地域の安全安心への認識を深め、地震に強い住宅とはどんなものか、自分の住む住宅や地域の安全を確保するためには何をすればよいかを学ぶため、久慈地域に住む小・中学校を対象として、火災時の体験学習や地震についての座学を行う「木造住宅の耐震対策普及講座」に取り組んでいます。

平成28年度は、野田中学校で開催しました。



◎出前講座の状況

写真左：模型による倒壊シミュレーション  
写真右：消防署によるスモークマシンを使用した体験学習  
※いずれも野田中学校